

Devarim

「ことば」

דברים

デバリーム

申命記1:1~3:22

イザヤ書1:1~27

ヨハネ15:1~11, マタイ24:1~22

—どうかあなたがたの父祖の神、主が、あなたがたを今の千倍にふやしてくださるように。そしてあなたがたに約束されたとおり、あなたがたを祝福してくださるように— 申命記 1:11



主の口から出ることばは、すべて「命」です。聖書には、「あなたのみことばは私の足のともしび、私の道の光です」とあります。トーラーの第5の書はヘブライ語で「デバリーム」で、「ことば」を意味します。イエシュアは「ことば（単数系：デバール）」です（ヨハネ1:1）！この書のことば（複数形：デバリーム）は、モーセがイスラエルの子らに語ったものです。それらには、民に約束の地に入る準備をさせるために愛をもって語られた叱責の言葉や、律法の詳述が含まれています。今までの内容は、モーセを通して神からイスラエルの子らに語られたことばでしたが、申命記ではモーセ自身が語り手です。私は神とモーセの最初の出会いの場面を思い出します。その時モーセは自分はことばの人ではないと言って、神から与えられた仕事をやりたくないと言います。神が私たちの「弱さ」を神の栄光のためにいかに用いてくださるか、考えさせられませんか？！

聖書の暦では、私たちは今、ヘブライ暦の5番目の月、アブにいます。アブは「父」を意味します。神は「人が自分の子を抱くように」イスラエルの民を抱き導かれました（申命記 1:31）。イエシュアは常に御父について語り、御父と御自身は一つであると言われます。イエシュアを通してのみ私たちは父のもとに行くことができるのです。この書をアブの月に始めることは、なんと時期的にふさわしいことでしょうか。またこの通読箇所は、ユダヤ人にとって、神殿破壊を覚えて過ごす3週間の哀悼期間を終える断食日（訳者注：神殿崩壊記念日）、アブの月の9日目の近く、もしくはその日に読まれます。トーラーの巻物の左側が細くなり、秋の祝祭と贖罪の大祭日という素晴らしい季節に向かっていくこの時期は、心を御父に向け、その私たちの前を進んでくださる方を信頼し、御言葉を聞き、実行しながら、心から従うに最適な時なのです。「王」の戴冠式に備えましょう！エルサレムの平和のために祈りましょう。そして日々、私たちの人生を父への礼拝の捧げ物となすべく生きましょう！

賛美

あなたがたに先立って行かれるあなたがたの神、主が、エジプトにおいて、あなたがたの目の前で、あなたがたのためにしてくれたそのとおりに、あなたがたのために戦われるのだ。 申命記1:30

それは、シオンからトーラーが出、エルサレムから主のことばが出るからだ。

イザヤ書2:3c

どんなにか私は、あなたのみおしえを愛していることでしょう。これが一日中、私の思いとなっています。 詩篇119:97

この天地は滅び去ります。しかし、わたしのことばは決して滅びることはありません。 マタイ24:35

告白

御子は神の栄光の輝き、また神の本質の完全な現れであり、その力あるみことばによって万物を保っておられます。また、罪のきよめを成し遂げて、すぐれて高い所の大能者の右の座に着かれました。

ヘブル人1:3

もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。 1ヨハネ 1:9

感謝

神が造られた物はみな良い物で、感謝して受けるとき、捨てるべき物は何一つありません。 神のことばと祈りによって、聖められるからです。

1テモテ4:4~5

とりなし

どのようにして若い人は自分の道を清く保つことができるでしょうか。あなたのみことばのとおりに道を守ることです。

詩篇119:9のみことばを通して祈ります。どうか.....があなたのみことばのとおりに道を守り、自分の道を清く保つことができますように。

.....が生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な、靈の乳を慕い求めますように。それによって.....が成長し、救いを得ることができますように。

1ペテロ2:2

主は.....のすべての咎を赦し.....のすべての病を癒す。 詩篇103:3

盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかなりません。わたしが来たのは、.....がいのちを得るため、それも豊かに得るためです。

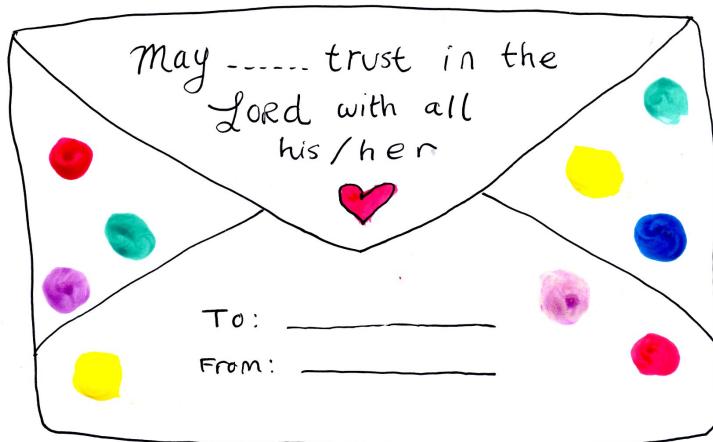
ヨハネ10:10

「時が満ち、神の国が近づいた。.....悔い改めて福音を信じなさい！」

マルコ1:15

.....あなたがたは救世主イエスを見たことはないけれども愛しており、今見てはいないけれども信じており、ことばに尽くせない、栄えに満ちた喜びに踊っています。

1ペテロ1:8



会衆

みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。寛容を尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。

2テモテ 4:2

だれに対しても、何の借りもあってはいけません。ただし、互いに愛し合うことについては別です。他の人を愛する者は、トーラーを完全に守っているのです。

ロマ人13:8

イスラエル

こうして、おまえのさばきいつかさたち

祝祷

私の口のことばと、私の心の思いとが御前に、受け入れられますように。わが岩、わが贖い主、主よ。

詩篇 19:15

先生たち

聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。

2テモテ 3:16~17

学校

若者をその行く道にふさわしく教育せよ。そうすれば、年老いても、それから離れないと。

箴言22:6